



秋の芸術祭での演奏を明日に控え、緊張しているかと思いきや、いつもの練習と変わらない雰囲気でも意外にもリラックスしていました。

しかし、練習になると空気が一変、音量やタンギングなどの細かいポイントに注意し、完成度を上げていきました。また、ソロパートの練習では堂々と演奏する様子を見て、「本番のソロパートはステージの前に出てやろう」と先生が提案すると、本番を想像した子どもたちは恥ずかしがって猛反対していました。本番に向けた打ち合わせでは、札幌芸術の森の方が演奏で着る衣装を用意してくれました。女の子たちが試着すると、保護者の皆さんから「かわいい!」と歓声が。一方の男性陣は、サイズが合わず大苦戦。最後は衣装を着たまま練習を続け、本番さながらの演奏をしていました。

2013.11.9 15:00~18:00

第7回 広尾ジュニア・ジャズ・ワークショップ

旧広尾小学校 2階